



「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来にむかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年11月25日 文責：校長 森川 稔



田平東小 “芸術の日”

17日(月)は、子どもたち、保護者、地域のみなさん、そして先生方すべてがホンモノの芸術に触れた一日でした。新上五島町より「有川羽差太鼓」、東京より「東京演劇集団『風』」のみなさんに来ていただき、非日常的な空間の中での演奏、参加型の公演がありました。

前日の16日には大きなトラック数台で来校され、舞台設営の作業をされました。公演を待ちきれない子どもたちも数人来校し、一緒に機材を運んだり組み立ての手伝いや、特別に舞台衣装を着せてもらったりしました。



当日の午前中は、学年ごとにバックステージツアーをしました。実際にステージに上がったり大道具や小道具に触れたり、照明や音響機器を操作したりする貴重な体験をしました。また、ミュージカルに出演する6年生や先生方のリハーサルも…。

そして午前中の最後は、「有川羽差太鼓」のみなさんの演奏です。小学生と中学生のみなさんによる捕鯨をイメージした力強いリズムと動きに魅了されました。演奏後の感想では「バチさばきがすごい!」「同じ小学生とは思えない」「とても力強い音だった」などいろいろな感想を次から次に発表してくれました。



お昼を挟んで、午後はいよいよ劇団「風」のみなさんによるミュージカル「星の王子さま」の公演です。王子さまがさまざまな星を旅する物語を通して、「本当に大切なものは目に見えない。心の中にある。」という作品のメッセージをみんなで一緒に感じました。かしこまらず、自然体でミュージカルに触れ、演者のみなさんとの掛け合いや笑い、拍手、しいへんとした雰囲気などそれぞれの感じ方で楽しむことができました。6年生や先生方も舞台に参加し、見事な（？）演技や歌に大きな拍手をいただきました。この参加型ミュージカルをとおして、子どもたちは、王子さまの姿に自分を重ね、友だちや家族、そして日々の関わりの大切さに気づく時間となりました。多くの保護者や地域の方にもご来場いただき、たくさんの嬉しいご感想もいただきました。ありがとうございました。



*先週は緊急連絡に伴う、下校時の引き渡し、翌日の保護者同伴登校にご理解とご協力をたださりありがとうございました。このような事案がないことを願うばかりですが、万一の場合の対応について、反省点、改善点も見えました。実際にお迎えに来られたときにお聞かせいただきたいいろいろなご意見を今後に活かしていきたいと思います。また、立哨や交通整理、見回り等でご協力いただいた地域のみなさまにも感謝申し上げます。

田平東小HPはこちらから→

